



日本電産トーソク株式会社

2007年3月期 決算説明会

代表取締役社長 竹松和男

2007年 4月26日

06年度連結決算概要

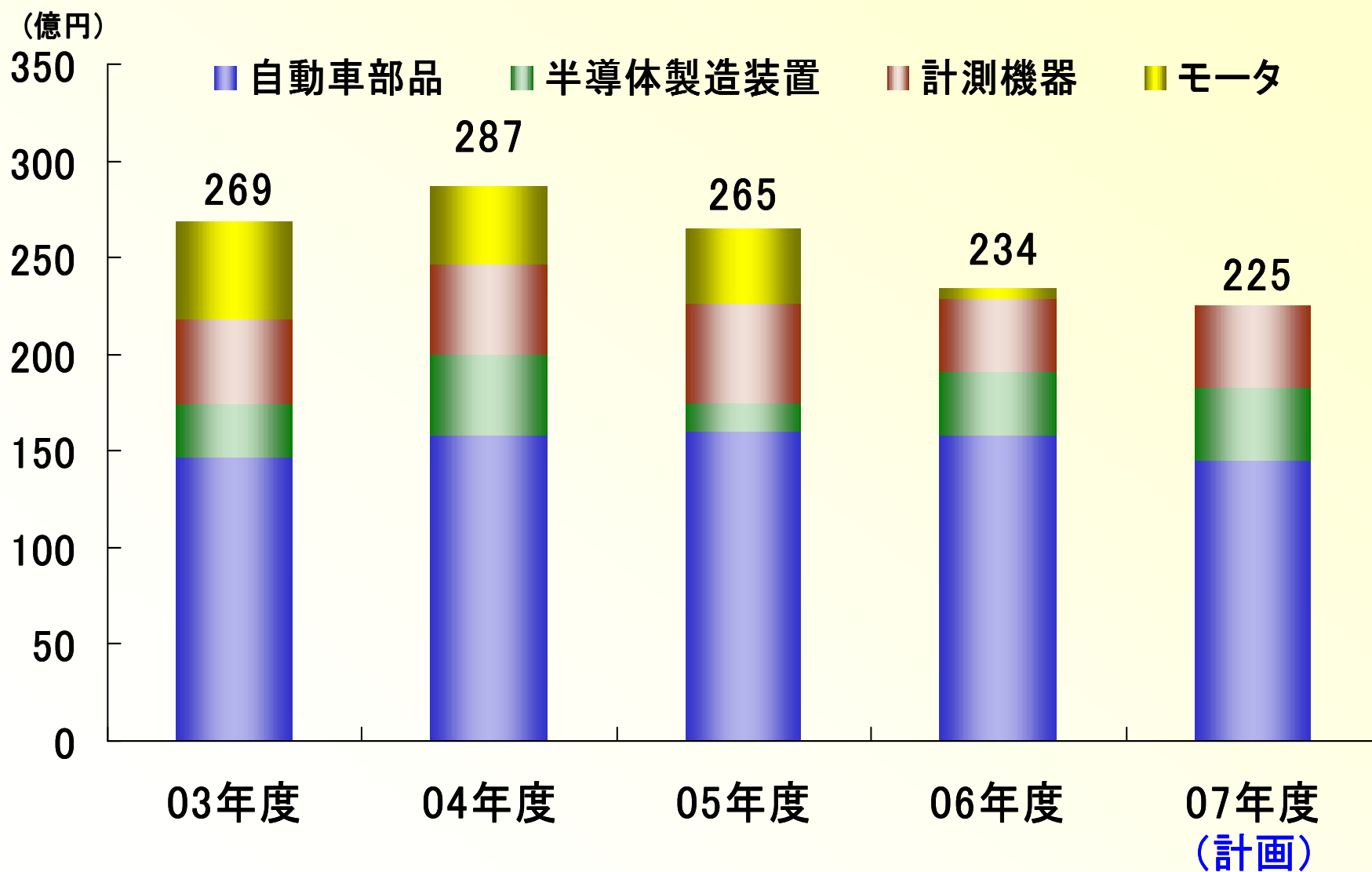
(単位:百万円)	05年度	06年度	増減率
売上高	26,518	23,430	△11.6%
営業利益 (営業利益率)	1,905 (7.2%)	1,809 (7.7%)	△ 5.0%
経常利益	1,872	1,953	↑4.3%
当期利益	1,095	1,182	↑8.0%
1株利益(円)	59.13円	61.48円	

2007年3月期 決算のポイント

- ◆ 売上・営業利益は減少
- ◆ 経常・当期利益は増加
(事業別)
 - ・ 計測機器事業の大幅減益
 - ・ 自動車部品事業の停滞
 - ・ 半導体製造装置事業の黒字化
- ◆ 借入金圧縮による更なる財務体質改善

年度推移

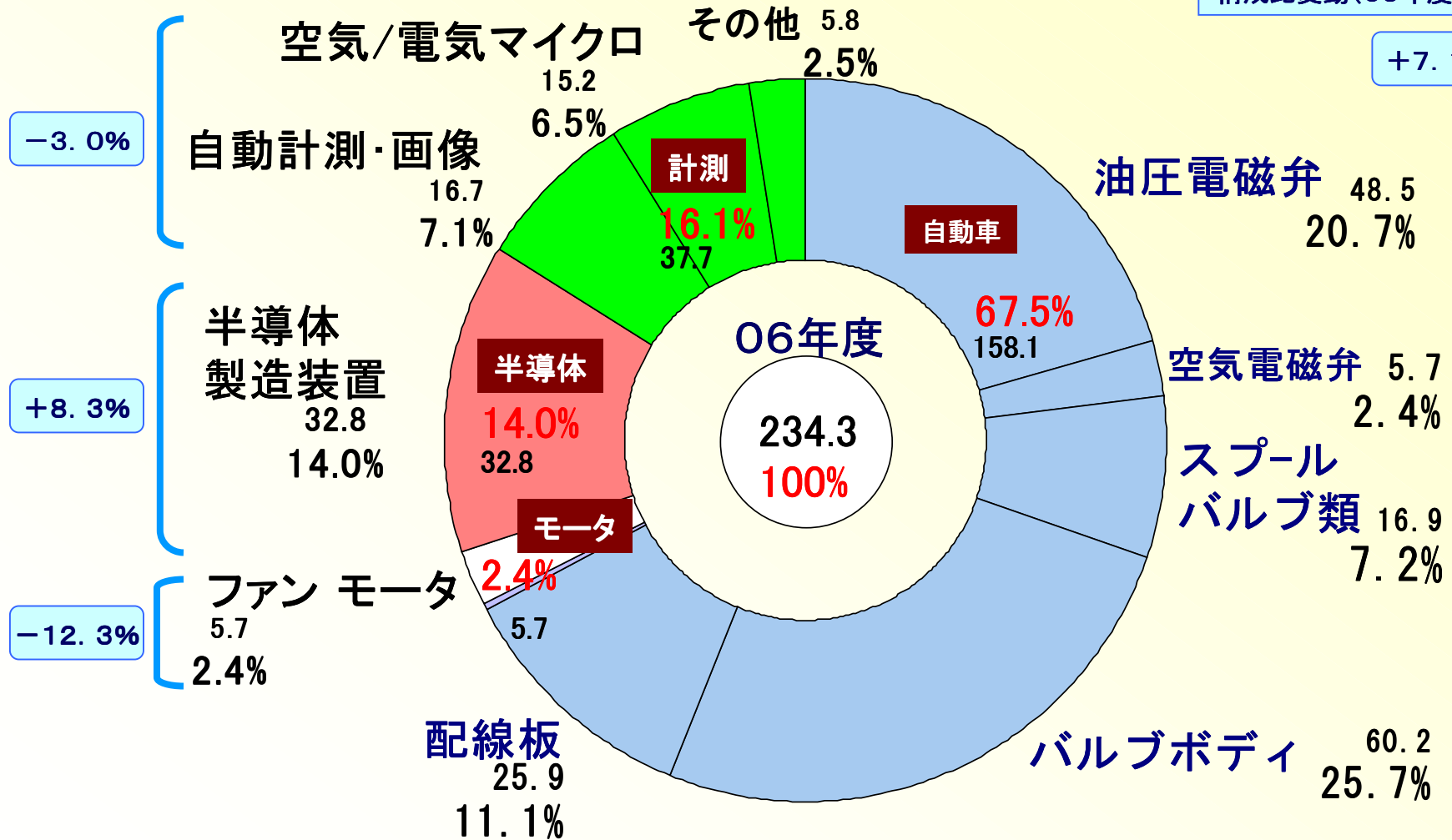
売上高(連結)



2006年度 売上構成実績(連結)

構成比変動(05年度対比)

+7.1%

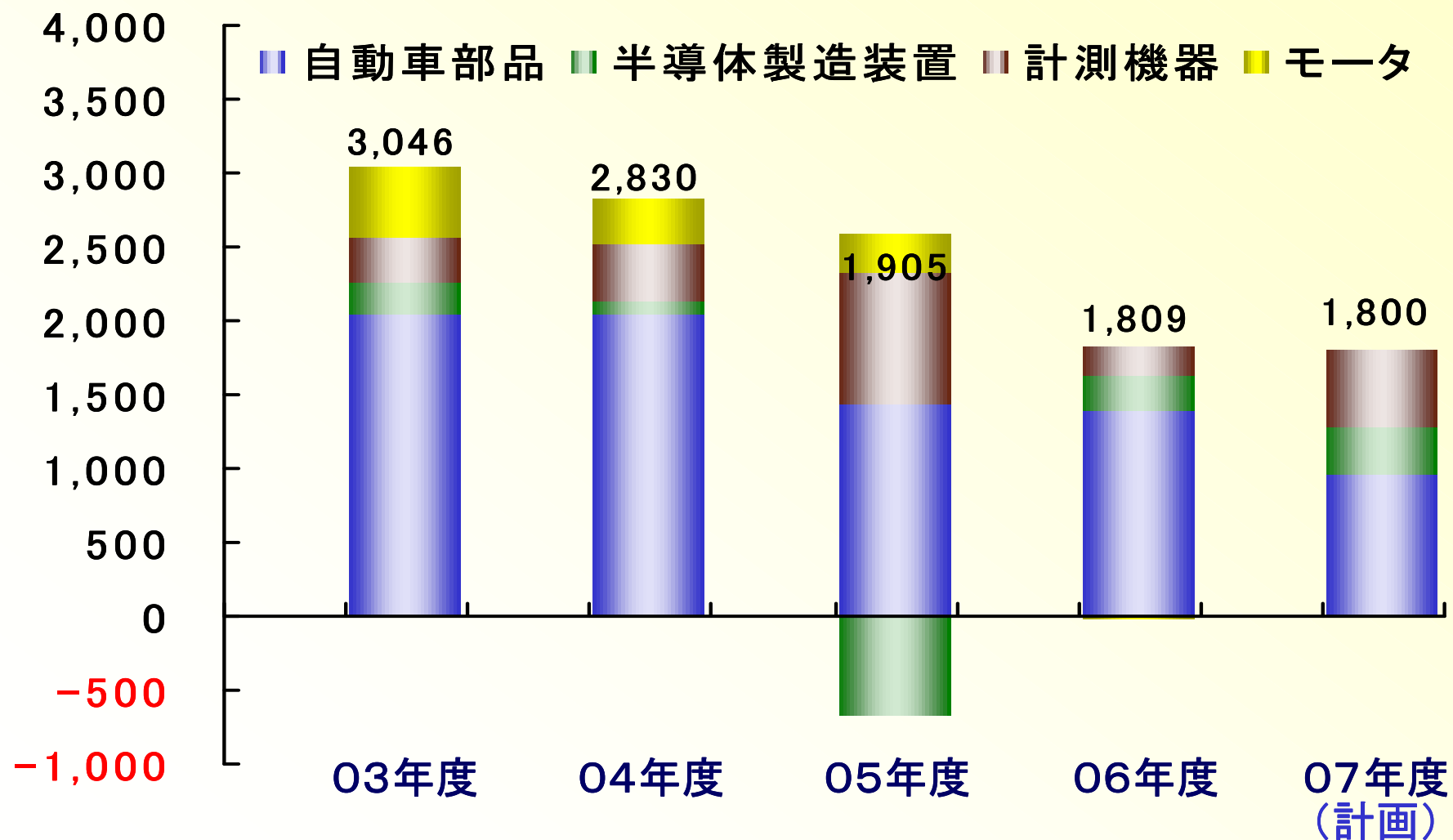


単位: 億円
構成比: % (06年度実績)

年度推移

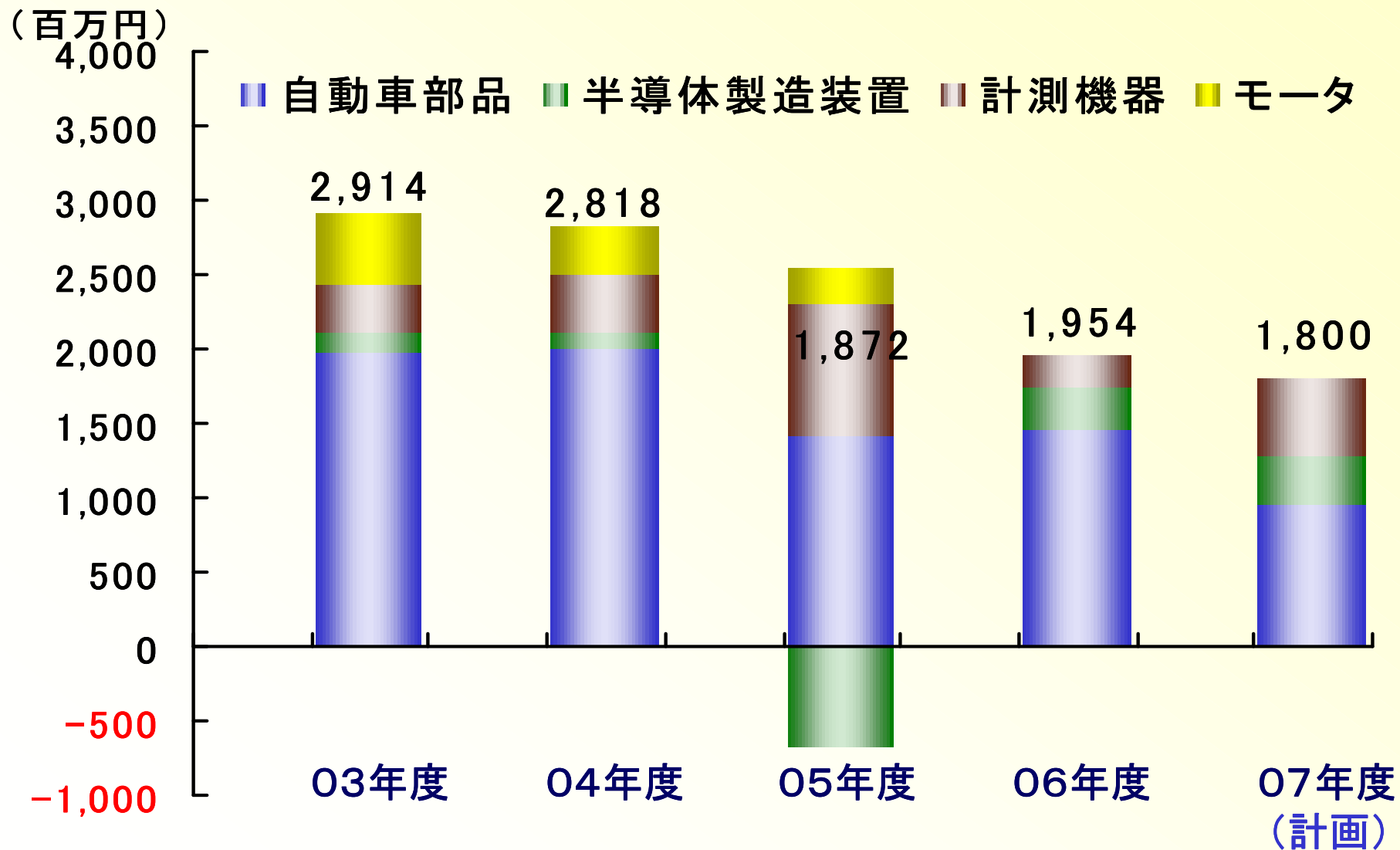
営業利益(連結)

(百万円)



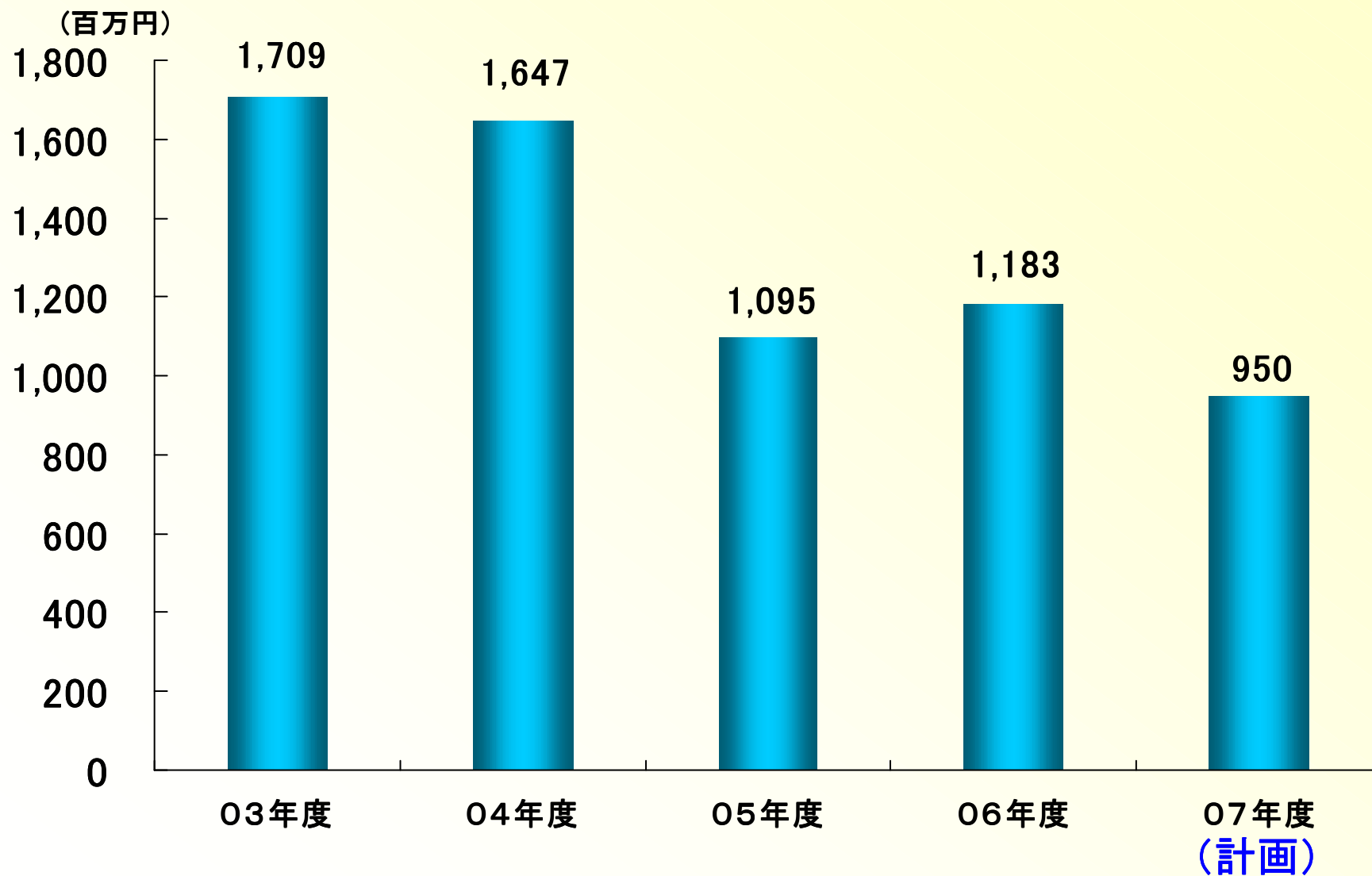
年度推移

經常利益(連結)



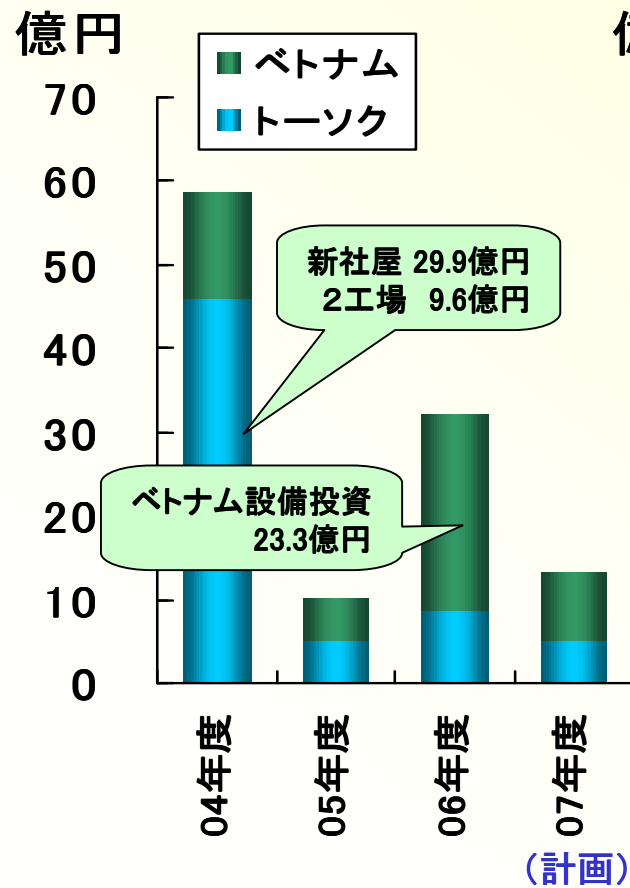
年度推移

当期利益(連結)

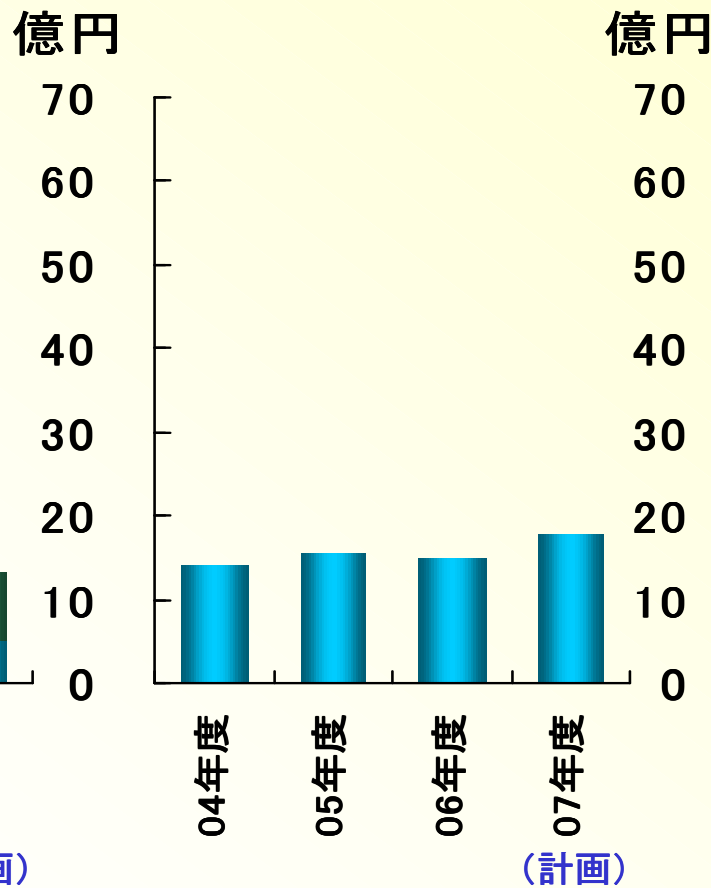


年度推移

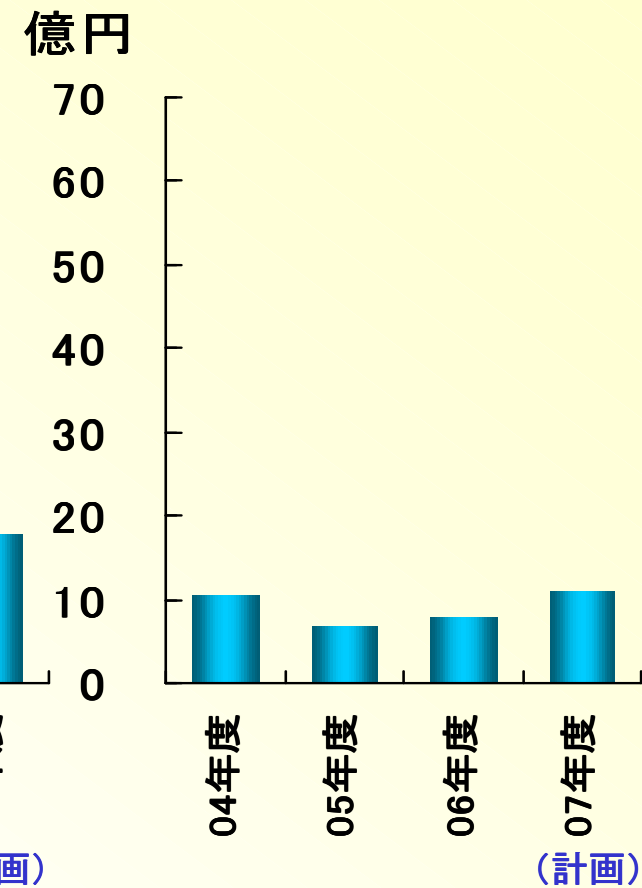
設備投資額(連結)



減価償却費(連結)



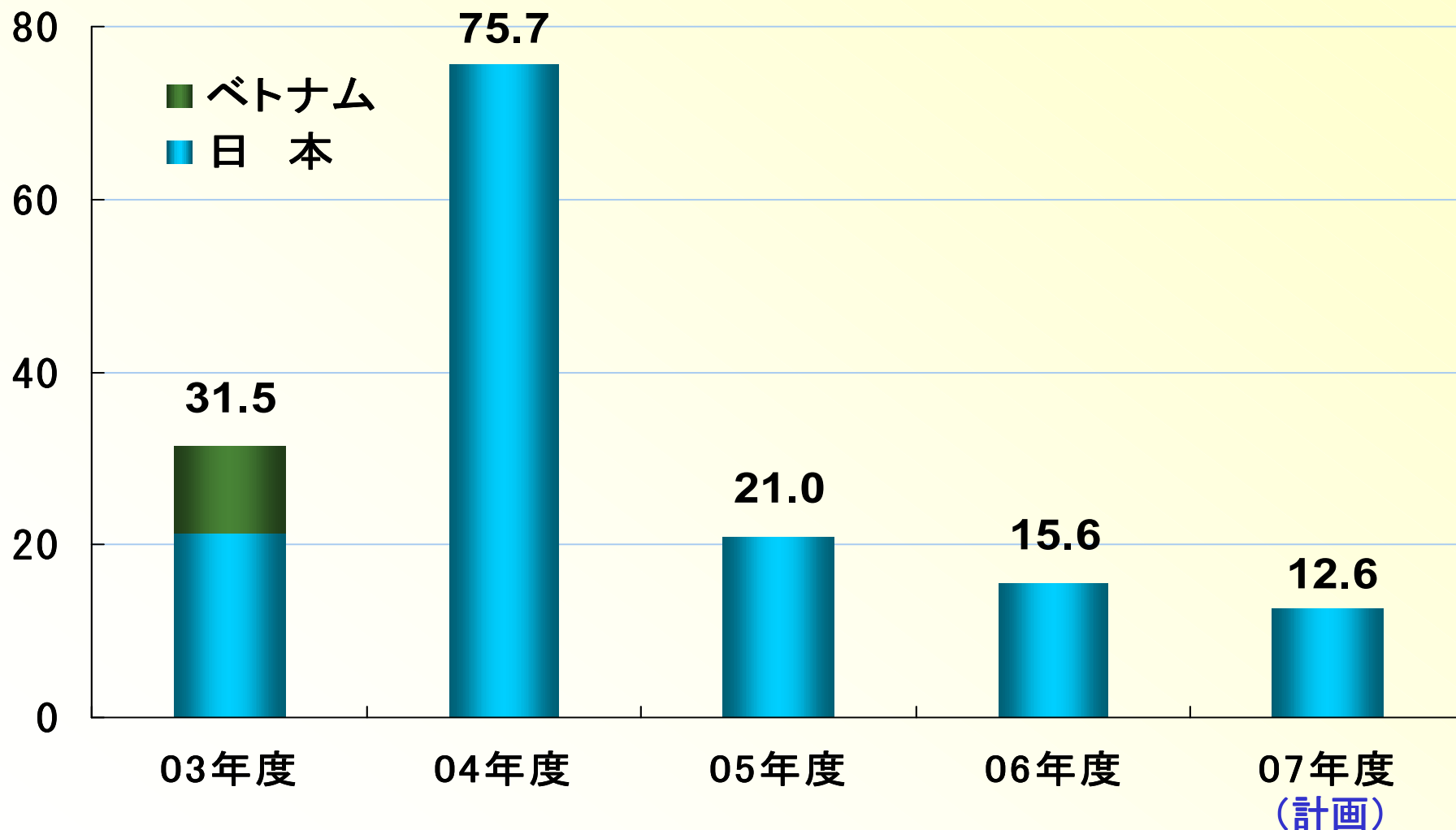
研究開発費(連結)



年度推移

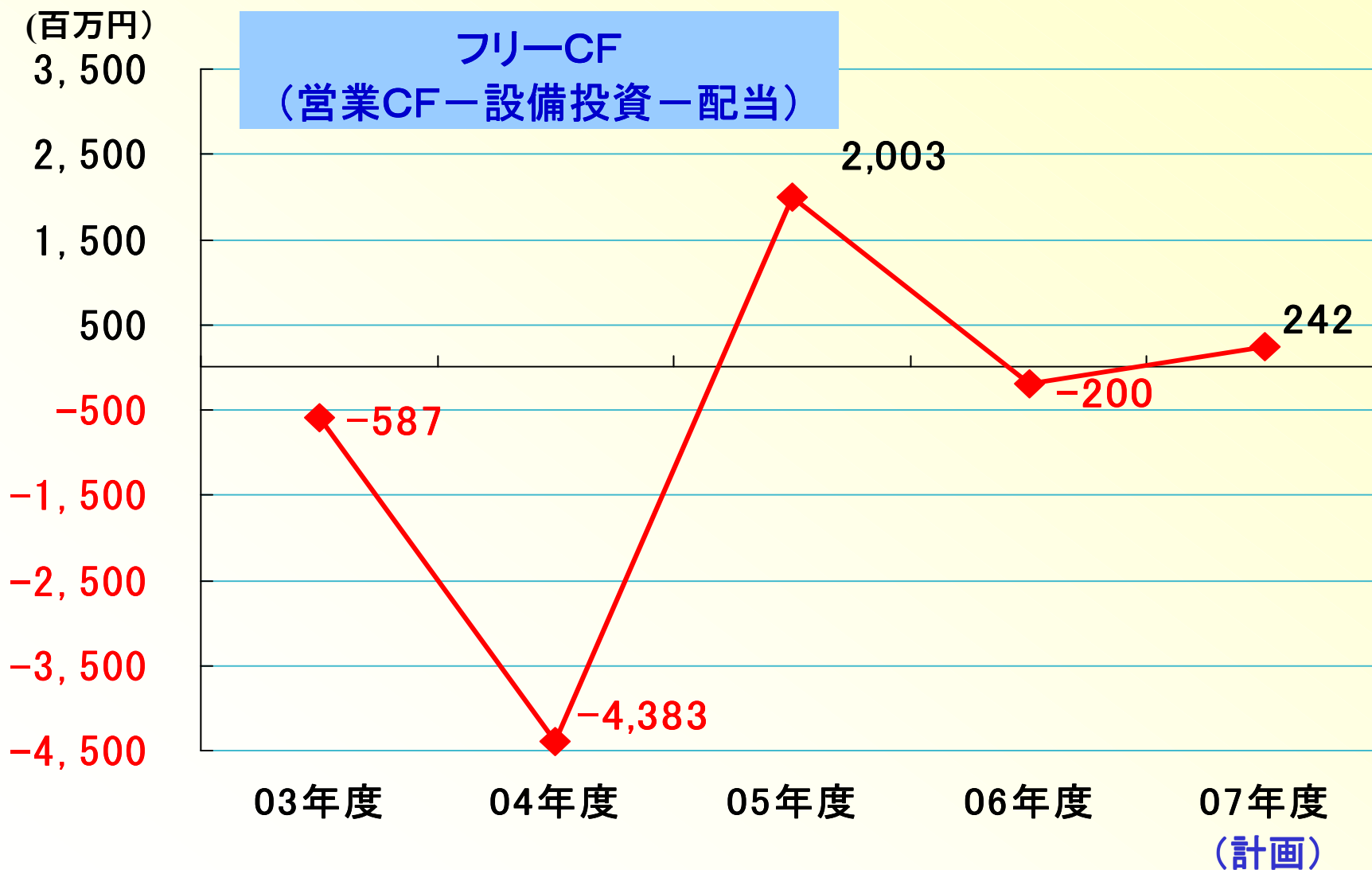
借入金(連結)

(億円)



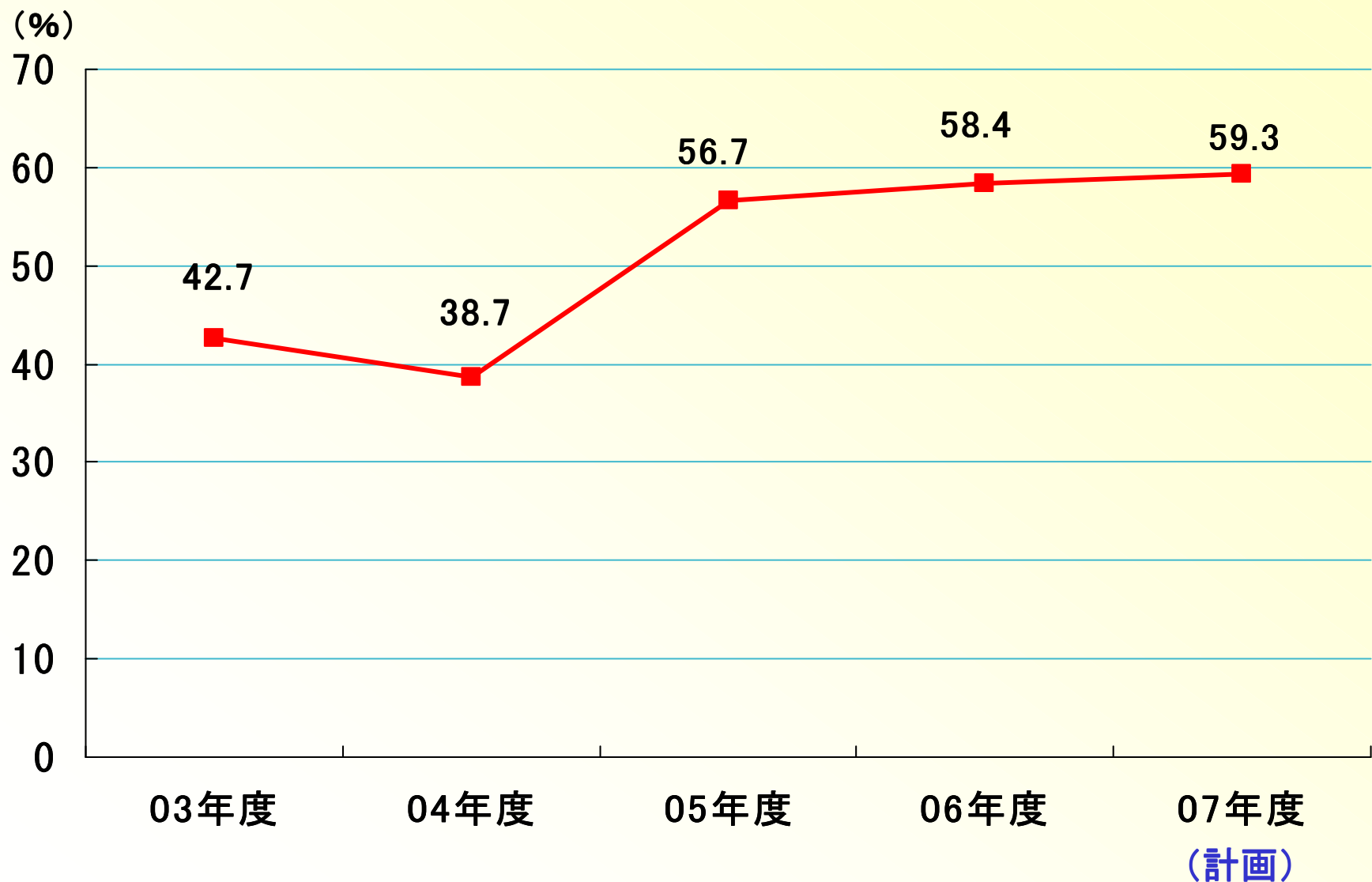
年度推移

キャッシュ・フロー(連結)



年度推移

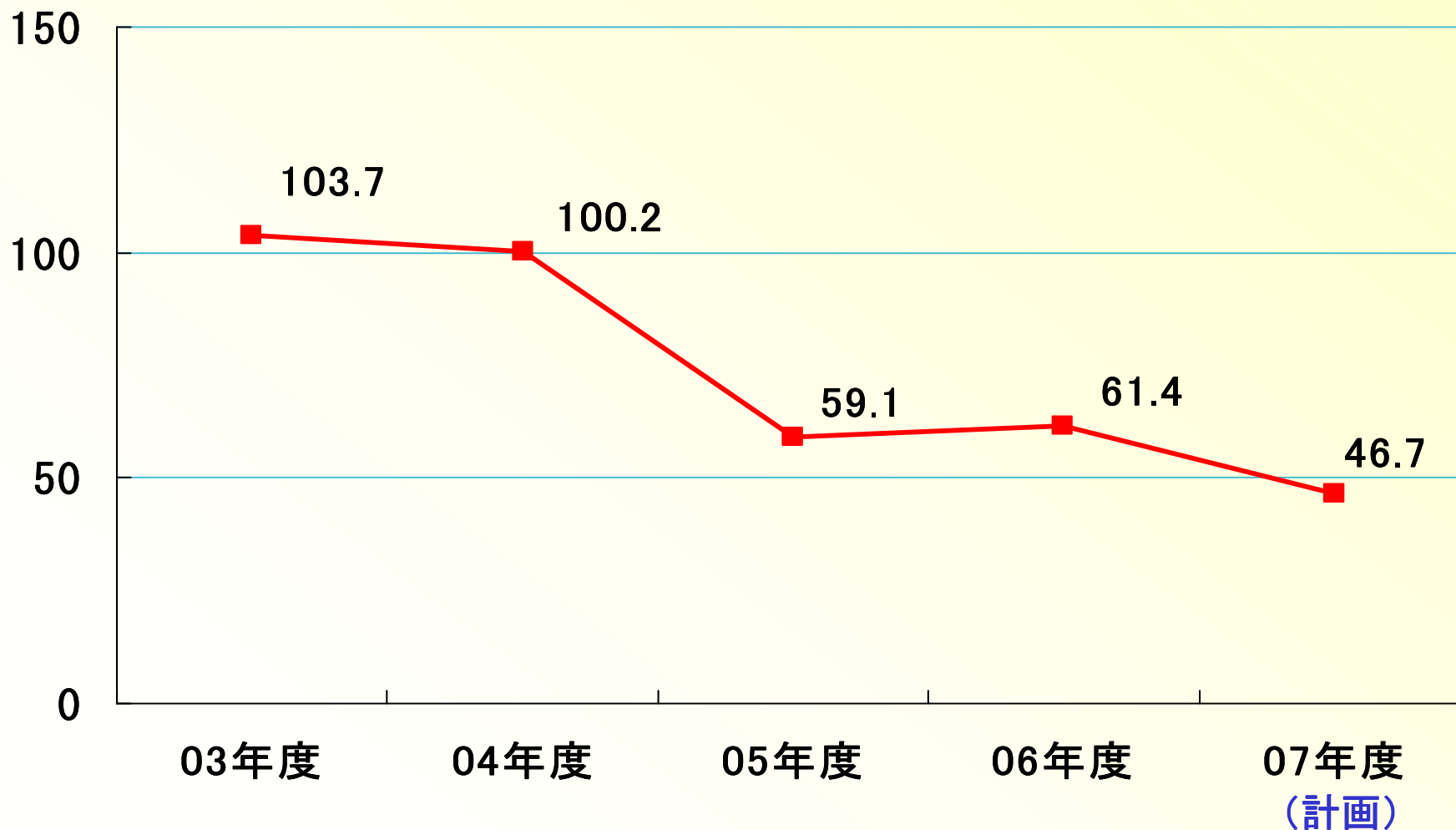
株主資本比率(連結)



年度推移 EPS 1株当り純利益(連結)

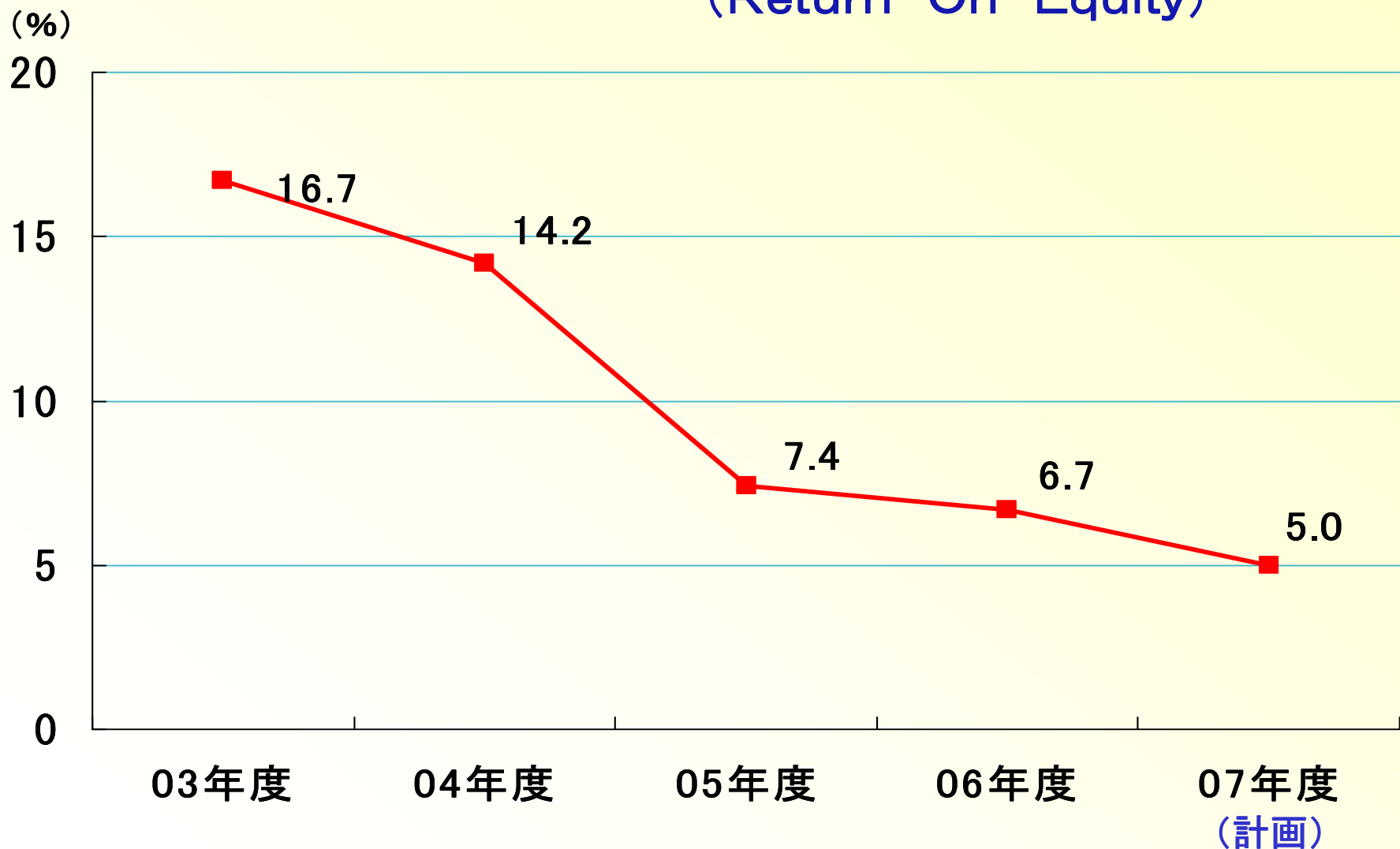
(Earnings Per Share)

(円/株)



年度推移 ROE 株主資本利益率(連結)

(Return On Equity)



07年度連結業績見通し

(単位:百万円)

	上期見通し	下期見通し	通期見通し
売上高	10,900	11,600	22,500
営業利益	500	1,300	1,800
経常利益	500	1,300	1,800
当期利益	220	730	950

業績回復に向けて

経営体制の強化

- ◆自動車部品
事業統括(グローバル運営)
- ◆半導体製造装置・計測機器
営業統括(拡販)

スリー新の推進

新製品、新顧客、新市場へ

基盤整備

管理システムの導入

自動車部品事業

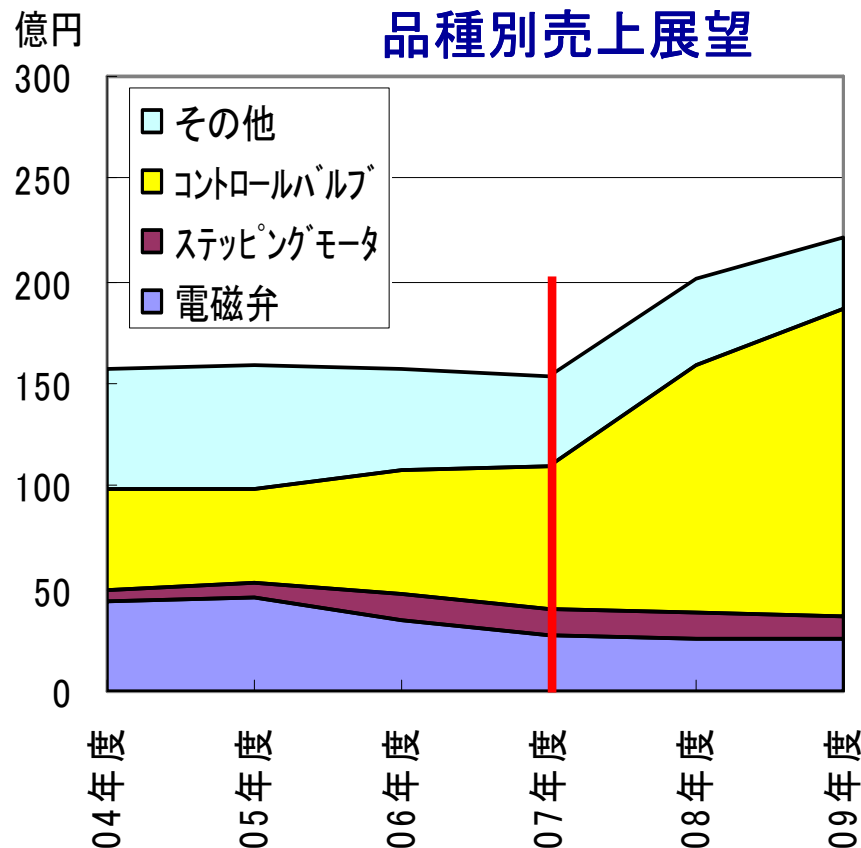
経営体制強化、開発強化

ベトナムとの一元管理運営

事業構造の改革

(損益分岐点の引き下げ)

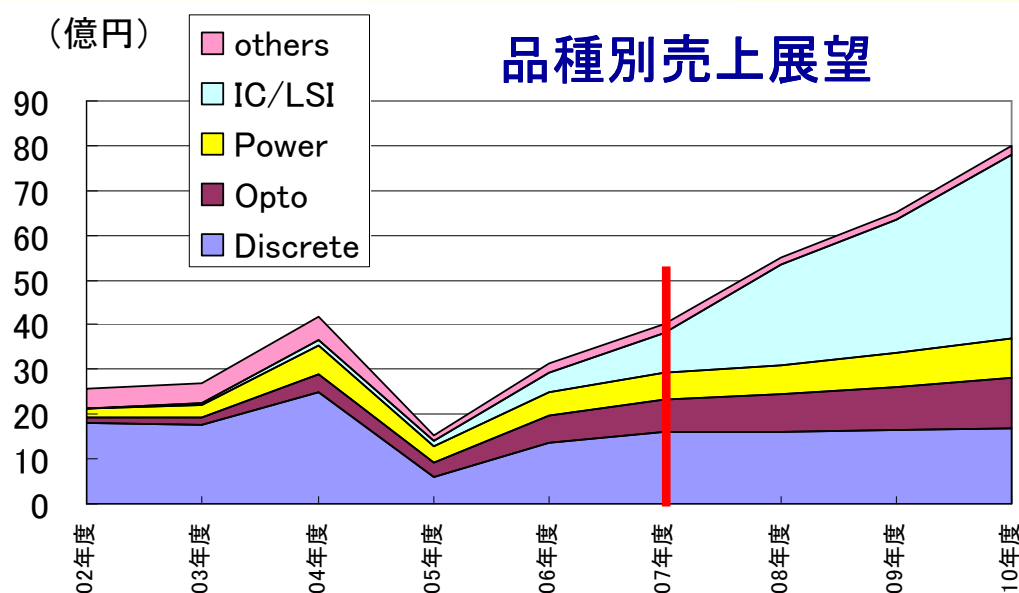
- ・材外費低減
設計VA、内転化、現地調達
- ・生産性向上
間接業務のベトナム移管
- ・新製品開発と新顧客開拓



半導体製造装置事業

事業拡大に向けて基盤整備

- 得意分野の充実(O・S・D)
- 新分野(IC)へ本格参入予定
(07年度後半)
- 高収益へ挑戦
(中国拠点の活用拡大と標準プラットフォーム化)

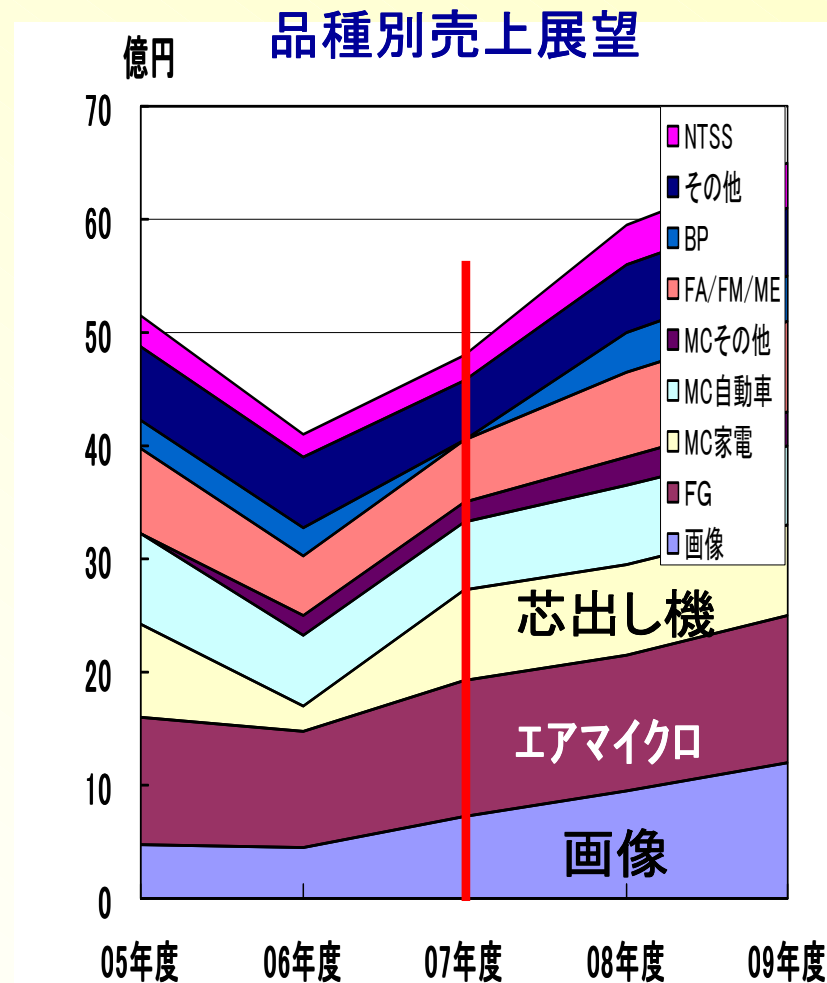


ダイボンダ

計測機器事業

販売拡大、営業・開発強化

- 主要製品の受注拡大
 コンプレッサ芯出し機
 画像検査装置
 エアマイクロメーター
- 新顧客の開拓
- 新製品の投入
 客先現場ニーズに対応
 (営業、開発の弱点克服)



おことわり

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各製品の開発・生産能力、製品価格の急激な変化、顧客の購買方針変更、納入客先の生産計画、関係会社の業績、及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれるすべての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。

日本電産トーソク株式会社